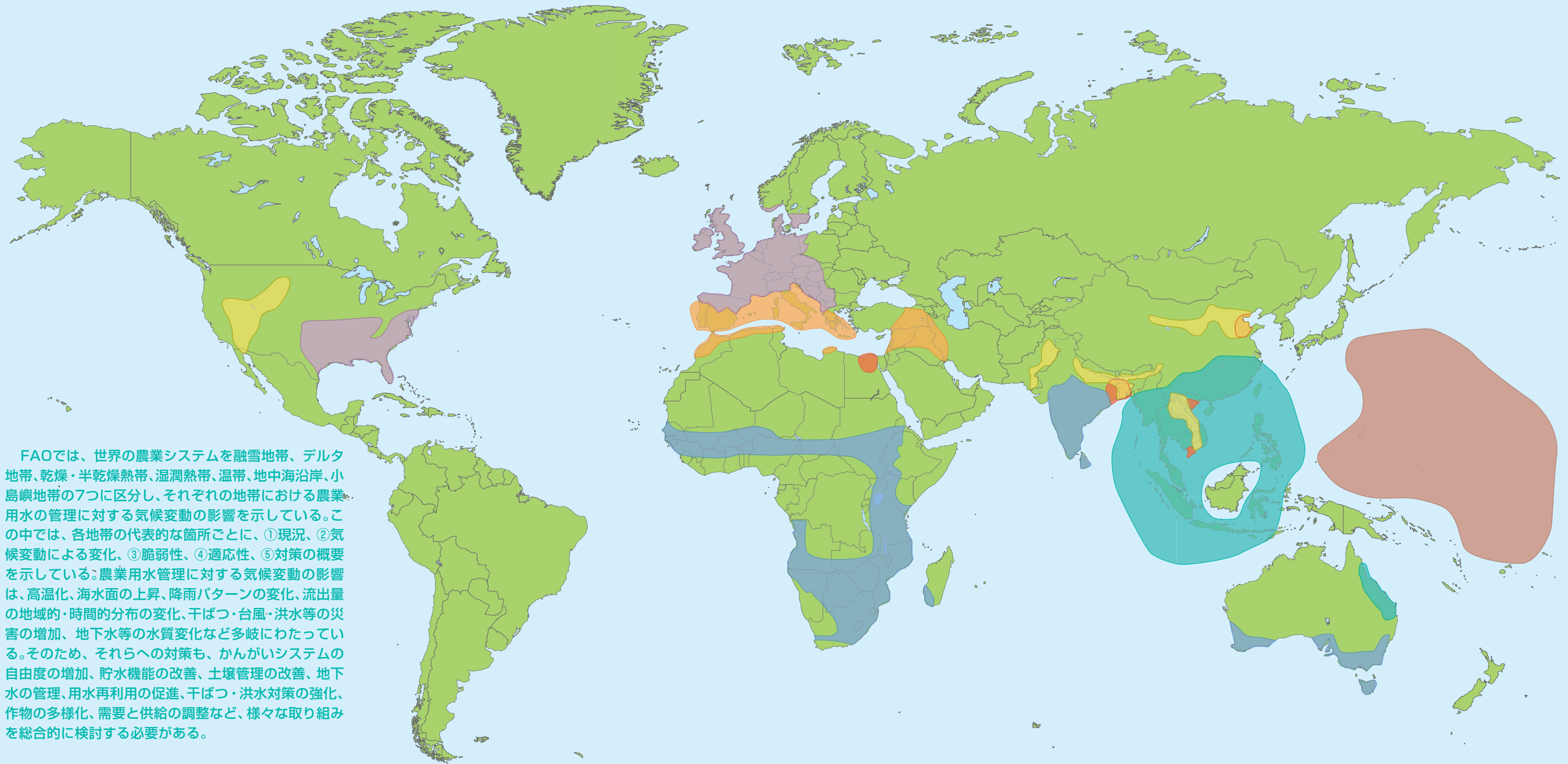


# FAOの農業用水管理マップ

## 世界の農業用水管理に対する気候変動の影響

Typology of Climate Change Impacts & Response Options for Agricultural Water Management in Selected Agricultural Systems



FAOでは、世界の農業システムを融雪地帯、デルタ地帯、乾燥・半乾燥熱帯、湿潤熱帯、温帯、地中海沿岸、小島嶼地帯の7つに区分し、それぞれの地帯における農業用水の管理に対する気候変動の影響を示している。この中では、各地帯の代表的な箇所ごとに、①現況、②気候変動による変化、③脆弱性、④適応性、⑤対策の概要を示している。農業用水管理に対する気候変動の影響は、高温化、海水面の上昇、降雨パターンの変化、流出量の地域的・時間的分布の変化、干ばつ・台風・洪水等の災害の増加、地下水等の水質変化など多岐にわたっている。そのため、それらへの対策も、かんがいシステムの自由度の増加、貯水機能の改善、土壌管理の改善、地下水の管理、用水再利用の促進、干ばつ・洪水対策の強化、作物の多様化、需要と供給の調整など、様々な取り組みを総合的に検討する必要がある。

各地帯の具体的な説明(英語)は、FAO本部のWater Development and Management Unit (水開発管理課)のウェブサイトより「Water & CLIMATE CHANGE: interactive maps」をご覧ください。

[www.fao.org/nr/water/](http://www.fao.org/nr/water/)

### 農業システムの区分

- 融雪地帯
- デルタ地帯
- 乾燥・半乾燥熱帯
- 湿潤熱帯
- 温帯
- 地中海沿岸
- 小島嶼地帯